

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。と言うのも憚れる年初でした。

能登半島地震・羽田空港衝突事故が起きました。能登では復興の目途立たず、一刻も早い支援が求められています。志賀原発が外部電源喪失、海にまで油流出と原発の危険性があらわになっております。

内政では「しんぶん赤旗」がスクープした自民のパーティ券裏金疑惑で逮捕者も出て、金まみれの政治に批判が高まっております。庶民は、インボイスやマイナンバー等の酷税で苦しむ中で、自民党は脱税も法律を捻じ曲げ、合法化してきております。こんなことは許されません。

今年は是非、国民本位・中小企業本位の政治実現の年になればと祈念する次第です。

当社グループも不動産・リフォームをお客様本位で取り組みながら、助け合いネットワークを大事にし、生活相談を旺盛に展開するつもりです。

今年も宜しくお願い致します。



高齢者住宅探しのお手伝いと遺言・家族信託

高齢者住宅探しのお手伝い



助け合いネットワークの一員として長年連携されている団体からの紹介で相談に乗った A さんは、お一人暮らしの高齢女性で、そろそろ一人暮らしは難しいと感じていました。ただ、高齢者住宅探しはどうすれば良いのか、どこに頼んだら良いのかが分からず困っていらっしゃるという状況でした。

当社で高齢者住宅を探す際に連携している会社を紹介して A さんの希望を聞いてもらい、幸いなことに希望に近い物件に巡り合うことができ、無事契約が決まりました。

懇意な方に残すために遺言で

相談を受けている中で、A さんはご結婚されておらず、御兄弟様、甥御様、姪御様もお亡くなりになっているということが分かり、何も対策しないと A さんが亡くなった際に、築かれてきた大切な財産は、懇意にしているご親族がいるのに、国に帰属しご親族に残せないことが分かりました。そのため、司法書士を紹介して遺言を書く方向で話を進めることになりました。

認知症対策で家族信託

高齢者住宅に転居した後、今まで住んでいたご自宅をいずれ売却したい希望もお持ちでしたが、年齢を重ねることで認知症になり意志判断能力がなくなることによって不動産売却ができなくなるリスクがあるため、司法書士から家族信託契約を提案してもらいました。

これは A さんのご自宅の売却について、A さんがお元気なうちに信頼できるご親族の方と A さんとの間で、どういう時に売却をして、その売却代金をどのように使ってほしいということを、事前をお願いすることで、万が一認知症になっても不動産売却が円滑に進められるという内容です。

ご本人の心配事解消で一安心

高齢者住宅探しという心配事が解消され、遺言、家族信託といった『親族に財産を残したい、万が一の時に親族に経済的な負担をかけさせたくない』という A さんの想いを叶えられる提案をしてもらえて、A さんも安心して高齢者住宅に転居できると喜んでいました。



北 嶺 通 信

建築・リフォームは…

北嶺グループ (株)共同舎へ

2024年

1・2月

NO.91

北嶺不動産有限会社

札幌市東区北31条東17丁目5番24号

T (011) 783-5667 F (011) 783-5768

E-mail hokurei1985@topaz.ocn.ne.jp

URL <http://hokurei-fudousan.co.jp>

※裏面もご覧ください。